

## 005 Cacco

作品名	作家名	感想	評価
かたみ歌	朱川湊人 新潮社	健さんの読書リストを読んで面白そうだったので貸してもらって読みました。まず表紙からノスタルジックでいかにも健さん好みです。30年前くらいの東京の下町の古本屋の主人が狂言回しになっている不思議テイストのほのぼの短編集。ひとつの話に必ず出てくる当時の流行歌が今の回顧ブームを当て込んでるようでちょっとわざとらしい気がするけど。中では猫の話なんかが好きです。	☆☆☆
私の絵日記	藤原マキ 学研M文庫	うさおがトマソン隊・縁辺の人で取り上げたつげ義春夫人の絵日記。つげ一家の暮らしぶりが伺えてとても面白い。「あれは妻からの視点であるときはほんとはあんなじゃなかった」なんて、あとがきで否定してる場所もつげさんらしくて笑っちゃう。ひとり息子の正助のその後にも興味がある。どんな大人になっているのだろう。	☆☆☆☆☆
推理小説	秦建日子 河出文庫	推理小説というタイトルの推理小説、ってだけあって中身も奇を衒った演出になっている。前半は面白かったけれどラストは普通の推理小説になってしまって面白くない。多少の辻褄の合わなさには目をつぶるからあつと言わせる展開にしてほしかった。瀬崎という出版社の社員が魅力的。せっかくのキャラがあこのラストには全く生かされてない気がするなあ。	☆☆☆★ この作家さんは男性?女性?どちらとも取れるんですけど。誰か教えてください。

「デスノート」「ヒカルの碁」「ピンポン」「サイコドクター」と漫画をたくさん読みました。「デスノート」「ピンポン」は実写で映画化、「ヒカルの碁」はテレビアニメ化、「サイコドクター」は確かテレビドラマ化されてたはず。今や触れば漫画が原作じゃんでふうなのかしら。「ピンポン」の松本大洋さんの漫画はちょっと見のイメージだと絵が読みにくいので今まで敬遠していました。ところが読んでみるとこれがおもしろい!!絵は背景まですべてフリーハンド、とっても上手くて魅力的です。一応スポ根漫画の範疇に入りますが、主役のキャラは今までのスポ根漫画には絶対登場しないタイプ。メガネを掛けていて知的で暗い。あらら好みのタイプです!「デスノート」のライトくん、「ヒカル」の八角くんとみーんなわたし好みなんですなー!